



多くの来場者でにぎわう芝生広場

11/16~17 第32回可児農業祭

花フェスタ記念公園で、毎年恒例の可児農業祭が開催されました。

地元野菜のスイーツやB級グルメの販売が行われたほか、つきたて餅やさとも煮の試食、農産物輪投げなどが行われました。また、東濃実業高校吹奏楽部などがステージ発表を行い、会場を盛り上げていました。

両日とも好天に恵まれ、会場は多くの来場者でにぎわっていました。

11/30 国史跡指定記念講演会を開催

戦国武将森可成の居城として知られる美濃金山城跡が国史跡に指定されたことを記念した講演会が兼山公民館で開催されました。

講演会には文化庁の佐藤主任調査官を招き、美濃金山城跡のすばらしさや国史跡を活用したまちづくりに取り組む全国の事例などについての講話があり、参加者は美濃金山城跡を含めた兼山の魅力やまちづくりについて考える機会となりました。



国史跡を活用したまちづくりについて意見を交換



受賞報告をする左から野村さん、梅田さん、伊左次さん

12/3 県地域子ども支援賞の受賞報告

県から「地域子ども支援賞」を受賞した人たちのうち、梅田郡二さん（矢戸）、野村利道さん（矢戸）、「下恵土子育てサロンどんぐり」代表の伊左次孝之さんが市役所を訪れ、富田市長に報告しました。

梅田さんと野村さんは、春里小学校5年生の米づくり体験学習の講師として長年にわたり協力。下恵土子育てサロンどんぐりは、乳幼児を持つ母親の情報交換、息抜き場として活用されています。

12/8 青空の中を快走

第56回可児駅伝競走大会が開催され、5部門で132チームが参加しました。

3～5部は可児郷土歴史館から広見小学校の全5区間、全長8.7キロのコースで、スタート地点となる可児郷土歴史館には多くの参加者が集まり、レースに向けて体を温めていました。

当日は冷え込んだものの好天に恵まれ、号砲と共に駆けだした選手たちは次々とたすきを繋いでいきました。



一斉にスタートする選手たち



志野茶碗 銘「瑞雲」と書画

11/7 荒川豊蔵作品の寄贈

可児市は、昨年11月に福井県の方から、荒川豊蔵氏の作品2点を寄贈いただきました。持ち主の方は、荒川豊蔵の作品をこよなく愛される方でした。作品は、昭和30年代に制作された志野茶碗 銘「瑞雲」と、昭和57年にこの志野茶碗を写した書画（軸装）です。

寄贈いただいた作品は、下記の展覧会でご覧いただけます。「縁に随う」は、自らの人生を振り返った豊蔵氏の言葉です。今回の巡り合わせも、その縁に導かれたように感じます。

展示概要

- ①タイトル 荒川豊蔵資料館再オープン記念展第2弾 人間国宝 荒川豊蔵～縁に随う～
- ②期間 平成26年1月10日（金）～3月30日（日）
- ③場所 荒川豊蔵資料館（可児市久々利柿下入会352）
☎・☎0574@1461
- ④開館時間 午前10時～午後3時30分
- ⑤開館日 金・土・日、および祝日
- ⑥展示内容 人間国宝に認定された後の作品約50点を紹介。豊蔵志野と言われるまでの色彩美や造形美を確立していった過程とともに、晩年に手がけた美濃焼以外の作品、作品を通じた文化人との交流を紹介する。

広告

「広報かに」に広告を掲載しませんか 広告主を募集!!

「広報かに」に広告を掲載しています。市民の皆さんへの広告媒体として利用してみませんか？（発行部数 約32,650部）

料金 1日号 3万円（カラー）

15日号 2万円（2色刷り）

掲載スペース 1枠 縦60mm×横80mm（この枠の大きさです。2枠分をまとめて利用も可）

※広告掲載には一定の要件、基準があります。

申込・問合せ先 総合政策課